学校教育目標
やさしい子
元気な子
進んで学ぶ子

学校だより

令和８年１１月１８日（水）
島原市立第四小学校　No.９

小さな心遣いが素敵な四小をつくる

正門から山を眺めると、緑の中にところどころ色づいた木々が見られるようになりました。季節は少しずつ秋から冬へと向かっています。

毎朝、５・６年生がふれあい広場の掃除に取り組んでいます。ほうきで落ち葉を集めるだけでなく、中には、一枚一枚、手で落ち葉を拾っている子どもの姿もあります。誰かに言われたからではなく、自分で気づき、自分にできることを考えて行動する。その姿に、四小の高学年としての頼もしさとやさしさを感じます。

さて、本校では、２学期からの重点目標の一つである『徳』について、「人を大切にする心をもち、よりよい行動を自ら考え、判断し、選択する力」を育むことを目指して取り組んできました。具体的には、次の４つの行動を大切にしてきました。

①笑顔で元気なあいさつ　　②はっきり返事「はいっ！」

③やさしい言葉「ありがとう」　④ちょっと難しいことに挑戦

どれも、特別に難しいことではありません。しかし、毎日続けること、自分から進んで行うことには、大きな意味があります。あいさつ一つ、返事一つ、言葉一つにも、相手を大切にする心は表れます。また、少し難しいことにも挑戦する姿勢は、自分っ自信を成長させることにつながります。

さらに、本校ではもっと素敵な四小にするために、子どもたち自らが代表委員会で話し合って決めた『四小スタンダード』にも取り組んできました。１０月の子どもたちの自己評価の結果は、次の通りです。

【四小スタンダード児童自己評価結果】

[年間の目標]	あいさつは笑顔で元気に自分から	◎47.2%　○46.5%　△6.3%
[２学期目標]	自分から反応	◎44.4%　○52.1%　△3.5%
	だまって掃除	◎56.9%　○41.0%　△2.1%

この結果から、３つの目標全てにおいて、90%以上の子どもが◎または〇と自己評価していることが分かります。特に、「だまって掃除」は、◎と評価した子どもが 56.9%と最も高い結果でした。日々の清掃活動を通して、自分の役割を果たそうとする意識が育っていることが伺えます。一方で、さらに良くしていきたいと考えている子どもたちもいます。大切なのは、できたかどうかだけでなく、自分の行動を振り返り、明日はもっと良くしようと考えることです。

正門から見える山の色づきや、朝のふれあい広場で落ち葉を拾う子どもたちの姿。こうした何気ない日常の中に、子どもたちの成長があります。

『Smile＆Challenge！（笑顔と挑戦）』～自分も笑顔、友だちも笑顔、みんな笑顔～

これからも、一人一人が相手を大切にし、自分で考えて行動することを積み重ねながら、みんなで安心して挑戦できる、笑顔いっぱいの四小をつくっていきたいと思います。